

みずほCustomer Desk Report 2018/07/18号(As of 2018/07/17)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	112.46 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.39	1.1710	131.58	1.3235	0.7414
SYD-NY High	112.93	1.1745	131.98	1.3268	0.7438
SYD-NY Low	112.23	1.1650	131.48	1.3068	0.7376
NY 5:00 PM	112.90	1.1661	131.60	1.3115	0.7388
NY DOW	25,119.89	55.53	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,855.12	49.40	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,809.55	11.12	米国2年債	2.6133	1.66bp
日経平均	22,697.36	100.01	米国5年債	2.7617	1.20bp
TOPIX	1,745.05	14.98	米国10年債	2.8591	0.37bp
シカゴ日経先物	22,875.00	310.00	独10年債	0.3420	3.95bp
ロンドンFT	7,626.33	25.88	英10年債	1.2595	▲2.00bp
DAX	12,661.54	100.52	豪10年債	2.6615	3.00bp
ハンセン指数	28,181.68	▲357.98	USDJPY 1M Vol	6.93	0.18%
上海総合	2,798.13	▲15.92	USDJPY 3M Vol	7.30	0.15%
NY金	1,227.30	▲12.40	USDJPY 6M Vol	7.66	0.13%
WTI	68.08	0.02	USDJPY 1M 25RR	-0.40	Yen Call Over
CRB指数	191.09	▲0.08	EURJPY 3M Vol	7.70	0.00%
ドルインデックス	94.95	0.43	EURJPY 6M Vol	8.29	0.06%

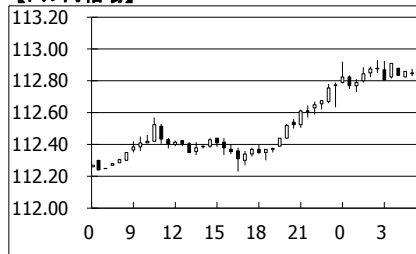
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月17日	17:30	英 ILO失業率	5月 4.2%	4.2%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	6月 0.6%	0.5%
	23:00	米 パウエルFRB議長「今後数年、労働市場は引き続き堅調で、インフレ率は2%近辺で推移する」		

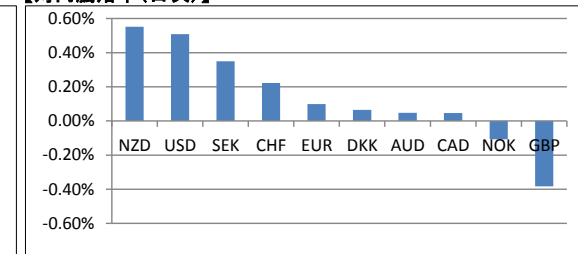
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月18日	09:00	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁講演	-	-
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	6月 0.2%/2.6%	0.4%/2.4%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	6月 0.1%/2.0%	0.5%/1.9%
	21:30	米 住宅着工件数	6月 1320k	1350k
	23:00	米 パウエルFRB議長議会証言	-	-
7月19日	03:00	米 ページブック公表	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.40-113.40	1.1600-1.1700	131.00-132.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は上昇する展開となった。112円台前半から半ばにかけてのもみ合い推移が続いた後、目立った材料のない中で全般的なドル買いの流れとなると112円台後半まで上昇。注目のパウエルFRB議長の議会証言では「当面の最善策は漸進的な利上げの継続」等の発言があり、特段目新しさを感じさせる発言はなかったが、次第にドル高が進行する展開となると一時112.92まで上昇した。本日のドル円相場は底堅い推移を予想する。昨日のパウエルFRB議長の議会証言においてサプライズはなかったが、貿易摩擦懸念が意識される中でも米国経済に対する自信が改めて示された格好となった。本日については113円台を試す展開を想定しておきたい。

東京	東京時間のドル円は112.39レベルでオープン。朝方112.57まで上昇する場面が見られるも、パウエルFRB議長の半期に一度の議会証言を控えるなか上値は限られ、112円台前半まで反落。午後に入ると同水準で方向感なく推移し、112.38レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、112.38レベルでオープン。パウエルFRB議長の議会証言を控えるなか小動きで始まったが、昼ごろからドル買いが強まり112.62まで上昇し112.61レベルでNYに渡った。ユーロは、1.1732レベルでオープン。朝方は日本とEUの経済連携協定の共同声明が伝わる中で1.1745の高値をつけるも、ドル買いに押され1.1703まで下落し1.1705レベルでNYに渡った。ポンドは、1.3254レベルでオープン。朝方、英6月雇用統計が市場予想通りの堅調な内容となったことで8月利上げ観測がサポートされ1.3268まで上昇するも、その後はドル買いが強まる中1.3195まで下落し、1.3193レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.61レベルでオープン。朝方は米6月鉱工業生産が予想を上回る一方、前回分が下方修正されたことから、この結果を受けたドル円の反応は限定的となるが、議長の議会証言を控え、ドル買いが強まったことから112.78まで上昇する。パウエル議長の議会証言では、特段目新しい発言は無く、殆ど予想通りであったが、ハト派な発言が無いとの見方からドル買いが継続し、112.92まで上昇。その後一旦利益確定の売りに下押しする局面もあったものの、午後に入りドル買いが再び優勢となり、高値112.93を付ける場面が見られた。終盤に掛けては、113円手前での推移が続き、112.90レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1705レベルでNYオープン。朝方はパウエル議長の証言を控え、ドル買い地合いとなる中、議長の証言後も更にドル買いが続いたことから1.1650まで下落。終盤に掛けては狭いレンジでの推移が続き、1.1661レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 森谷・山本